

（令和5年度中実績・令和6年度評価）

■大項目にかかる評価

【評価点】

S：特筆すべき進捗状況
A：計画どおり
B：おおむね計画どおり
C：やや遅れている
D：重大な改善事項あり

（参考：小項目の評価点）

V：計画を大幅に上回って実施している
IV：計画を上回って実施している
III：計画を順調に実施している
II：計画を十分実施できていない
I：計画を大幅に下回っている

【小項目評価（V～I）の大項目評価（S～D）への反映の考え方】

- 小項目について、概ねⅢの評価であれば、大項目はB評価を基本とする。
- 大項目について、B以外の評価を行う場合は、小項目の評価でⅣ以上の高評価・Ⅱ以下の低評価となっている項目について、単に項目数ではなく、項目ごとの内容の中期目標での重要性等を考慮し、総合的に判断の上、その理由を示す。

大項目	番号	内容	詳細（中期目標より）	市長評価（案）				第1回評価委員会意見（要旨）	
				大項目		小項目			
				評価点	評価の理由	番号	評価		
1 住民に対して提供するサービスの質の向上に関する事項	1	動物展示の充実と快適な園内環境の創出による動物園の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方に来園したいと思っていただけるよう、展示動物の充実により動物園の魅力を上向きさせるとともにその魅力発信を強化する。 ・再度来園したいと思っていただけるよう、快適な園内環境を創出する等、来園者満足度を高めるための園内サービスの充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・JAZA（日本動物園水族館協会）の個体群管理計画に基づく種別管理等を受領する等、他園との信頼構築に努めている。これは展示動物の計画的な導入・確保にも繋がる取組であり評価できる。 ・イベント実施や情報発信にあたっては、分析や工夫を行いながら内容の充実を図っている。 ・上記より、計画どおり進んでいることから、A評価とする。 	1	Ⅲ		
						2	Ⅳ		
						3	Ⅲ		
						4	Ⅲ		
						5	Ⅲ		
						6	Ⅲ		
						7	Ⅲ		
						8	Ⅲ		
						9	Ⅲ		
						10	Ⅲ		
						11	Ⅲ		
						12	Ⅲ		
2 効率業務に運営する改善及び	1	動物の生態等に関する理解や関心を深めるための教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及機能を強化し、飼育動物の生態のみならず、環境問題も視野に教育普及活動を行い、来園者の行動変容に繋げる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・来園者の行動変容に繋がる取組として、ボランティア制度や様々なプログラムを継続実施している。 ・各取組において、アンケート等を実施し、内容の充実を図っていることが認められる。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	13	Ⅲ		
						14	Ⅲ		
						15	Ⅲ		
	3	動物福祉に配慮した飼育管理と高度な飼育技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園の主役である動物たちが健康で幸せに暮らせる環境を創出するために、飼育管理機能を強化する。 ・飼育技術を継承・高度化するとともに、世界に通用する飼育基準に適合した獣舎整備を推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・独法化以降、継続的に環境エンリッチメント及びハズバンダリートレーニングを着実に実施しており、ソフト面での飼育管理機能の強化に努めていることが認められる。 ・また、動物福祉に配慮した獣舎整備に向けて、現獣舎の補修・点検や新獣舎の整備を実施している。 ・上記より、計画どおり進んでいることから、A評価とする。 	16	Ⅲ		<ul style="list-style-type: none"> ・項目17（環境エンリッチメント・ハズバンダリートレーニング）については、地独化以降大幅に取組種数が拡大している。種数だけでなく各取組の効果検証結果を数字等で文化することは難しいと思うが、今後は効果を評価してほしい。
						17	Ⅳ		
						18	Ⅲ		
						19	Ⅲ		
						20	Ⅲ		
						21	Ⅲ		
	4	繁殖及び調査研究活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・飼育動物の維持・充実とともに、生息域外保全という観点から種の保存に貢献するため、繁殖技術の向上を図る。 ・動物の生態に係る各種調査研究活動を推進することで国内外の動物園からの信頼を高める。 	S	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖に向けた取組をチェックポイントとして見える化し、継続的な効果検証を実施している。その結果、当園では9年ぶりのフラミンゴの繁殖に成功しただけでなく、国内2園目のヨウスコウワニの繁殖にも成功したことから、繁殖技術の向上が見受けられる。 ・法人内で複数の研究を進めているだけでなく、成果がまとまったものについては研究会等で発表も行い、査読付きの雑誌に掲載される等、目覚ましい成長をとけており、国内外の動物園からの信頼向上にも繋がっている。 ・上記より、特筆すべき進捗状況であると判断できることから、S評価とする。 	22	Ⅳ		
						23	Ⅲ		
						24	Ⅲ		
25						Ⅳ			
26						Ⅲ			
27						Ⅲ			
28						Ⅳ			
3 財務内容の改善に関する事項	1	自律的な組織経営	<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な組織体制の構築 ・適材適所の柔軟な人事配置 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・機動的な組織体制の構築に向けた取組を行っており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	29	Ⅲ		
						30	Ⅲ		
						31	Ⅲ		
	2	人材の確保・育成と職員の能力向上・意欲喚起	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保・育成 ・職員の能力向上と意欲喚起 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して人材育成にかかる研修等を適切に実施している。 ・インセンティブが適正に働く人事評価制度の確立に向け、現行制度の見直しを進めている。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	32	Ⅲ		
						33	Ⅲ		
						34	Ⅲ		
	3	効果的・効率的な業務執行	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルの確立 ・ICTの導入及び活用 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルに基づいて各種制度を運用できており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	35	Ⅲ		
						36	Ⅲ		
						37	Ⅲ		
1	収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・着実に入園料収入を確保する。 ・戦略的な渉外営業や魅力的なグッズ開発等の入園料外収入の確保に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンクラブ会費収入は目標値には達しなかったものの、令和4年度以降、加入者数及び会費収入額は増加傾向にある。 ・また、新規入園者の獲得に向けた広報や企画、渉外活動を着実に進めており、入園者数はコロナ前の水準に近づいてきている。その結果、前年度より入園料収入、入園料外収入いずれも増加した。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	38	Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> ・項目40（ファンクラブ）については、ファンクラブ加入促進に関する発信が足りないと思うので、PR方法を工夫し、新規加入者獲得に繋げてほしい。 		
					39	Ⅲ			
					40	Ⅱ			
					41	Ⅲ			
					42	Ⅲ			
					43	Ⅲ			
					44	Ⅳ			
2	経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> ・業務内容の精査により、経費節減に努める。 ・投資についても、経費の抑制に努める。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費の削減に向けた取組を実施するなど、経費削減に努めており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。 	45	Ⅲ			
					46	Ⅲ			

大項目	番号	内容	詳細（中期目標より）	市長評価（案）				第1回評価委員会意見（要旨）
				大項目		小項目		
				評価点	評価の理由	番号	評価	
4 その他業務運営に関する重要事項	1	内部統制の強化	・法人が適切に業務を運営していくため、内部統制の確立・強化に必要な環境を整備する。	B	・継続して内部統制にかかる取組を適切に実施しており、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	47	Ⅲ	・リスク管理についてはマネジメントや体制だけでなく、発生した事故等をリスク管理の視点からも評価できるような項目もあればよい。
						48	Ⅲ	
						49	Ⅲ	
						50	Ⅲ	
						51	Ⅲ	
						52	Ⅲ	
	2	来園者の安全確保	・施設を適正に維持管理するとともに、計画的に施設の整備を推進する。	B	・令和5年度はチンパンジー逃走事故が発生させ、来園者を避難させる必要が生じた。また、老朽化による設備の不具合等が発生したが、随時、対策を行い、来園者の安全確保ができるようマニュアルを改定するなど継続して見直しを続けている。 ・上記より、おおむね計画どおりであることから、B評価とする。	55	Ⅱ	・今回発生させた動物逸走は獣舎の隙間からの逸走とのことだが、獣舎の構造にかかる注意事項については、飼育担当者だけでなく施設整備担当者にも理解しておいてほしい。
						56	Ⅲ	
						57	Ⅲ	
	58	Ⅲ						
	3	職員の安全衛生管理	・安全対策の徹底と事故防止に努める。 ・職員が心身ともに健康を保持し、その能力を十分発揮できる職場環境づくりに努める。	B	・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。	59	Ⅲ	
	4	環境に配慮した取組の推進	・環境に配慮した取組を推進する。	A	・継続して環境に配慮した取組を着実に実施しているだけでなく、新たな連携を実施するなど積極的に拡大しており、計画どおり進んでいることから、A評価とする。	60	Ⅳ	
5	情報公開の推進	・毎年の業務実績報告書等により情報公開を推進する。	B	・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。	61	Ⅲ		
6	B C Pの策定	・B C P（事業継続計画）を策定し、重大事故等の危機事象が発生した際の体制を構築する。	B	・現時点ではおおむね計画どおりであることから、B評価とする。	62	Ⅲ		

■全体評価

- 各項目の評価を踏まえ、記述式で評価。
- 年度計画の項目にはないが、中期目標の達成に資するものがあれば、ここで評価を行う。

【市長評価】

全体を通しておおむね計画どおりに進捗している。
動物福祉向上に関する取組や繁殖等、法人設立時より力を入れてきた分野が成果を上げ、今年度はフランゴやヨウスコウワニの繁殖に成功した。また、繁殖活動や日常の飼育から得られる知見について情報を整理し各班単位で研究を進め、発表にまで結びついていることは、調査研究活動が個人的な活動ではなく組織の活動として定着してきていることを示している。この点については計画より進んでいると評価できる。
しかしながらチンパンジー逃走事故を起こし、来園者の安全を脅かした。これについては対策を講じてはいるが、今後もリスク管理の在り方や安全対策について、検討を継続してほしい。また収入の確保については計画どおり進捗していないところもあるため、地方独立行政法人であることを活かして寄附等を戦略的に増やすことで魅力的な動物園づくりをより一層積極的に進める努力を求めたい。

【評価委員会意見（要旨）】